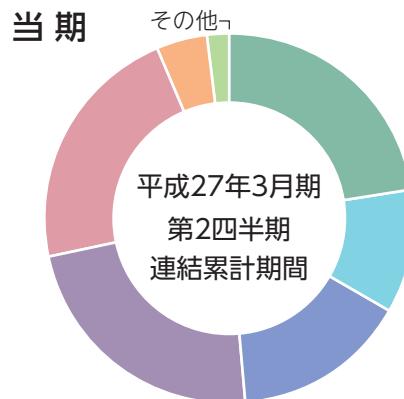
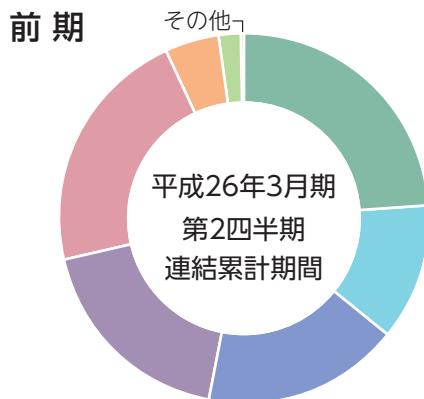


●●● 各事業の概況(連結) (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

■ セグメント別売上高構成比



| | 前期 | 当期 |
|-------------------------|-------|-------|
| ■ 金属本部 | 24.0% | 22.7% |
| ■ グローバル部品・ロジスティクス本部* | 11.9% | 10.7% |
| ■ 自動車本部 | 17.3% | 15.4% |
| ■ 機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部 | 18.3% | 23.1% |

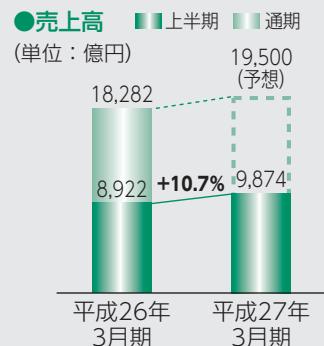
| | 前期 | 当期 |
|------------------|-------|-------|
| ■ 化学品・エレクトロニクス本部 | 21.8% | 21.9% |
| ■ 食料本部 | 4.5% | 4.5% |
| ■ 生活産業本部 | 2.1% | 1.7% |
| ■ その他 | 0.1% | 0.0% |

*平成26年4月1日よりグローバル生産部品・ロジスティクス本部については名称をグローバル部品・ロジスティクス本部に変更しております。

金属本部



鉄鋼分野では、海外自動車生産増加に応えるため、事業会社の能力増強に取り組みました。非鉄金属分野では、Toyotsu Rare Earths India Pvt. Ltd.が、インド政府の傘下企業であるIndian Rare Earths Ltd.と原料供給につき大筋の合意を得て、当期中にレアアースの本格生産が開始できる見通しとなりました。鉄鋼原料分野では、リサイクル事業の世界展開へ向け、金属スクラップの取扱量で世界第2位のドイツ・スクラップ事業会社Scholz Holding GmbHに資本参加しました。



各事業の概況(連結) (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

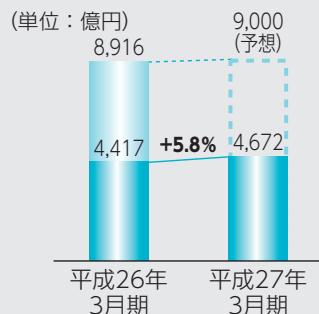
グローバル部品・ ロジスティクス本部



新たな省エネルギー市場の開拓を行うため、米国のBig Ass Solutionsの省エネ超大型シーリングファンを常磐興産株式会社が運営する「スパリゾートハウリアンズ」へ寄贈し、共同実証実験を開始しました。

※平成26年4月1日よりグローバル生産部品・ロジスティクス本部については名称をグローバル部品・ロジスティクス本部に変更しております。

●売上高

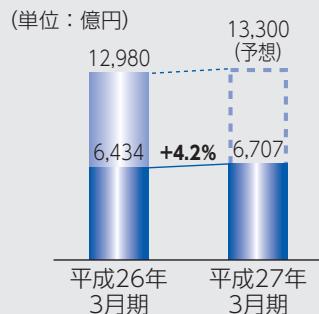


自動車本部



カンボジアにおいて、当社が出資するトヨタ車輸入販売代理店の現地パートナーであるKong Nuon Group Co.,Ltd.と合併で販売金融会社を設立し、同国にてファイナンス事業を開始しました。また、ケニアにおいて、Toyota Kenya Business Parkを設置し、完成車の物流センターや部品倉庫、中古車事業などを集約するとともに、従来のトレーニングセンターを拡充した人材育成センターを開所しました。

●売上高

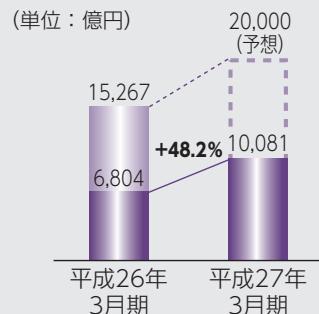


機械・エネルギー・ プラントプロジェクト 本部



北米地域を電力事業分野における重要市場の一つと位置づけ、米国メリーランド州においてSt.Charles天然ガス焼き火力発電所の建設・運営に参画しました。

●売上高



化学品・ エレクトロニクス本部



化学品分野では、ケニアにおいて、肥料製造事業の実施に向けてケニア農業省と肥料事業推進の覚書を締結しました。エレクトロニクス分野では、新たな事業展開への取り組み強化と顧客満足度の向上のため、株式会社トーメンエレクトロニクスの完全子会社化に向けた公開買付けを実施しました。

●売上高

(単位：億円)



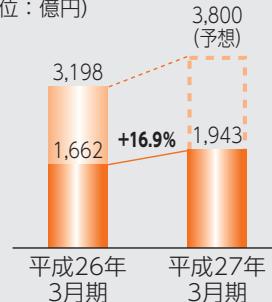
食料本部



農水事業分野では、学校法人近畿大学と水産養殖事業の推進に関する覚書を締結し、より一層連携を強化するとともに、クロマグロ人工種苗の安定的な生産・供給を目指し、長崎県五島市に株式会社ツナドリーム五島種苗センターを設立しました。

●売上高

(単位：億円)



生活産業本部



リビング&ヘルスケア分野では、医療事業拡大のため、セコム医療システム株式会社およびインドのキルロスカ・グループと共同運営を行う総合病院事業会社に関し、株式会社国際協力銀行を割当先とする、第三者割当増資による優先株式を発行しました。また、インドネシアにおいて、現地リップポー・グループ他と共同で建設を進めていた、長期滞在者および出張者向けホテルレジデンス「AXIA SOUTH CIKARANG」が完成、開業しました。

●売上高

(単位：億円)

